

光学区まちづくり計画

～自分のまちは自らがつくろう 住みよいまち光学区～



草戸稲荷神社



明王院

光学区まちづくり推進委員会

目 次

1	はじめに	1
2	アンケートからみる光学区の現状と課題	2
3	まちづくりの基本的な考え方	4
4	まちづくりの推進体制	5
5	まちづくりの目標	5
6	光学区の地域まちづくり計画（分野別）	6
7	まちづくり計画策定の経緯	8

資料1 光学区まちづくり計画 組織表

資料2 まちづくり計画策定委員 名簿

資料3 アンケート結果概要

資料4 地域活動写真

1 はじめに

光学区まちづくり推進委員会委員長 志田原 隆

福山市は、市制施行100周年となる2016年（平成28年）に向け、どのような「まち」をめざしていくのか、どんなことに取り組んでいく必要があるのかなど、まちづくりの方向性や重点項目を定めた「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。その行動計画で、福山市が各学区に策定を求めているのが、「地域まちづくり計画」です。

そこで光学区まちづくり推進委員会では、アンケート調査検討委員会を立ちあげて学区全戸に「住みよいまちづくりについて」アンケートをお願いしたところ、94.3%という多くの回答をいただきました。その回答結果を、検討委員会の中で四つの部会にまとめさせていただきました。まちづくり推進委員会では、光学区のまちづくりスローガンとして次の目標を掲げます。「自分のまちは自らがつくろう 住みよいまち光学区」

以上のように、まちづくりの目標が決定しましたのでよろしくお願い致します。



光学区まちづくりアンケート検討委員会委員長
光学区町内会連合会会長 大橋 繁興

「光学区まちづくり計画」策定に際しましては、多くの学区住民の方々がどのようなことを思っているのか、またどのようなことを願っているのかを把握し、その課題解決にむけて、学区住民の方々と意見を交わし、課題を共有することが必要となります。そこで、皆さまの意見をまちづくり計画へ反映させるために、学区全戸へアンケート調査を実施いたしました。その調査に係りましては、各町内会の会長さんをはじめ組長、役員の皆さまにも大変お世話になりました。

光学区の場合は各設問に満足いく答えが無い場合は、その他へ自由記入欄を設けました。その結果、この欄への記入が多く大変参考になりました。そして、調査結果からみた学区の課題を四部会に分かれて「光学区まちづくり計画検討委員会」を発足させ、検討を重ねる中で、「自分のまちは自らがつくろう 住みよいまち光学区」を学区のスローガンに決定しました。

また、今回のまとめを基に、学区住民の皆さまが一番何を望んでおられるのかをここにお示しいたします。全てが皆さまのご希望通りにはまいりませんが、順次進めてまいりますので、今後ともご協力、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2 アンケートからみる光学区の現状と課題

(1) 光学区の現状

① 世帯数・人口，高齢化，町内会加入率の推移

学区の世帯数は微増している一方，高齢化が進んでいます。

また，町内会加入率が大幅に減少しており，地域のつながりの希薄化が懸念されているところです。

『自分のまちは自らがつくる』ために，人と人との絆や地域コミュニティが重要となっています。

年度	世帯数（人）	町内会加入率（%）	高齢化率（%）
2008（平成20）	3,459	71.6	26.4
2009（平成21）	3,475	71.7	26.7
2010（平成22）	3,447	66.9	27.3
2011（平成23）	3,485	63.1	27.8
2012（平成24）	3,524	61.8	28.6

（福山市情報管理課より）

※数字は各年度末（3月末現在）

※世帯数については，2013年（平成25年）からは外国人住民単身世帯数含む。なお，2012年（平成24年）までは外国人住民単身世帯数は含まないが，日本人住民と外国人住民との混合世帯数は含む。

※人口は2013年（平成25年）からは外国人住民の人口含む。2012年（平成24年）までは含まない。

※町内会加入率は，4月町内会連合会調査。 加入世帯数／未加入世帯数

※高齢化率は，65歳以上人口計／学区人口計

② 光学区の概要

光学区は旧市街地から南西に約3km，母なる芦田川に沿うように長く，17の単位町内会で構成されています。世帯数 約3,500戸，人口 約7,700人（75歳以上の後期高齢化率15.1%）は市の平均より少し大きい規模です。芦田川右岸（西側）に4町内会，左岸（東側）には13の町内会で構成されています。縦に長い学区の真ん中を東西に福山鞆線が走り，芦田川までの地域を南北に二分しています。

この一帯は旧鷹取川・八本川（淀川）の廃川地として開発され、北側の地域は、農地・工場・戸建住宅・集合住宅が混然一体となった高密度な生活空間になっており、南側の地域は、福山・沼隈道路建設計画に伴う立ち退きの空き地が広がり、さらに農地の宅地転用も進み、町の風景が大きく変わりつつあります。ここは文京のエリアでもあり光小学校・鷹取中学校そして、隣の学区ラインをまたぐと県立福山工業高等学校が一本のベルトのように並びます。

学区の西側は、通称「^{かわにしよんちょう}川西四丁」と親しく呼ばれる悠久の歴史を誇るエリアです。草戸山の麓には、国宝「五重の塔・本堂」・重要文化財などを有する弘法大師開基ゆかりの明王院が700年余り前からあります。守護神でもある草戸稻荷神社をはじめ山麓に点在する社・仏閣群は遥か「草戸千軒町」以前から伝わる、地域のお守りです。

光学区は、豊かな自然がとても身近にあります。水の流れ・山の緑・青い空が織りなす大空間には吹く風も柔らかく、心地よい癒しさを感じる事ができるでしょう。そんな風情があるところです。



(2) 光学区の課題

アンケートから、光学区の課題を4つの部会に分け、それぞれ課題について話し合いました。

学区・教育部会では、「地域に活気がない」「防犯・防災の面で不安」「家庭教育の重視」「地域で子どもの育成活動」「人間関係の充実」「史跡・旧跡のPR」「史跡・旧跡の看板設置」の7点

環境・福祉部会では、「ごみの分別」「ペットの糞処理」「ペットの飼育等のPRチラシの配布」「子育て全般」「高齢者の居場所づくり」「高齢者の見守り（お助け隊の結成）」「障がい者に対する相談支援の充実」「障がい者に対する地域の支援ボランティアなどの仕組みづくり」「公共施設のバリアフリー化」の9点

安心・安全部会では、災害時の「平日昼間の対応」「高齢者の対応」「情報連絡体制」「公共施設の避難・防災体制の強化」「備蓄品・防災資機材の充実」、交通安全の「子どもや高齢者の交通事故防止」「交通ルール等の啓発活動」の7点

協働・人権部会では、「住みよいまちづくり学習会への参加」「協働のまちづくりの認知度の向上とその取組方法」「学区の将来像」の3点についてどのような取組ができるか、どのような取組が必要かを議論していきました。

3 まちづくりの基本的な考え方

(1) 計画策定の趣旨

光学区まちづくり計画は、これまでの学区の成果や課題を踏まえ、『住みよい光学区をつくるため、自分のまちは自らがつくっていく』ために、まちづくり活動の主役である住民の幅広い意見をもとに、学区の将来像をまとめ、「まちづくり活動」の指針とするものです。

(2) 計画の性格

学区の住民すべてが、まちづくり計画の活動目標を共有し、それぞれの事業に積極的に参加することを期待するものです。

(3) 目標年次

この計画は、2018年度（平成30年度）を完成目標とします。

(4) 計画の見直し

実施した活動成果を適切に評価するとともに、住民の要望を的確に捉え、必要に応じて見直しを図るなど、行政や関係団体とともにより実効性のある活動を実施します。

4 まちづくりの推進体制

住民の意見をとりとまとめ、まちづくり推進委員会各団体および町内会連合会と連携しながら推進してまいります。

5 まちづくりの目標

4つの部会それぞれの課題から、光学区の目標として以下のスローガンを掲げます。

【目標】

～ 自分のまちは自らがつくろう
住みよいまち光学区 ～

目標を達成するために、次のとおり活動方針を定め、まちづくりを推進していきます。

【活動方針】

- ①学区の宝の再認識
- ②ペットのしつけも家族と共に
- ③助け合い（自助・共助・公助）そして近助なり
- ④あいさつ・声かけ運動

6 光学区の地域まちづくり計画（分野別）

分野	事業内容	役割分担			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期 (継続)
学区 ・ 教育	・学区民憲章をつくる	○			○		
	・光学区独自の盆踊りの作詞・作曲 踊りの公募	○			○		
	・「学区の宝（明王院・シンボルロード等）」を知り，郷土愛を育む		○			○	
環境 ・ 福祉	・家庭ごみの分別徹底	○			○		○
	・ペット飼育のマナー啓発	○			○		○
	・子育て支援・高齢者支援に向けた ボランティアの養成	○					○
	・高齢者の見守り活動の充実	○					○
	・各町内会でのお助け隊の結成	○					○
	・公共施設のバリアフリー化			○			○
	・障がい者に対する理解を深めるた めの講座や住民学習の実施と支援		○				○
安心 ・ 安全	・防災訓練の実施 (学区・町内会単位・組単位)		○				○
	・監視カメラ・防犯灯の設置		○				○
	・避難行動要支援者（災害時要援護 者）の支援	○					○
	・防災意識の強化に向けた体験と学習		○				○

分野	事業内容	役割分担			目標達成期間		
		学区	協働	行政	短期	中期	長期 (継続)
安心 ・ 安全	・交通安全教室（親子・高齢者）		○		○		
	・子どもの登下校の見守り活動の充実	○					○
	・危険通学路の改善		○				○
	・交番の取締強化			○	○		
	・交通安全のポスター公募	○			○		
協働 ・ 人権	・あいさつ・声かけ運動の実施	○					○
	・「住みよいまちづくり学習会」への参加拡大に向けた取組み		○		○		
	・「協働のまちづくり」の理解を深める講座	○			○		
	・リーダー養成出前講座		○		○		
	・各種スポーツ大会の開催	○					○
	・盆踊り大会・文化祭・とんど祭り・敬老会の開催	○					○
	・町内一斉清掃	○					○
	・町内会・老人会への加入促進	○					○

※短期：2014年度～2016年度（3年間）

中期：2014年度～2018年度（5年間）

長期：2014年度～長期継続的に取り組む

（継続）

7 まちづくり計画策定の経緯

2013年（平成25年）

3/14 まちづくり推進委員会

- ・「地域まちづくり計画」実施にむけて

3/27 まちづくりアンケート 町連検討委員会

- ・「地域まちづくり計画」および「まちづくりアンケート実施の必要性」について町内会長へ説明
- ・まちづくりアンケート調査検討委員会を組織

5/16 第1回 まちづくりアンケート調査検討委員会

- ・役員選出
- ・アンケートの設問項目について検討

5/21 第2回 まちづくりアンケート調査検討委員会

- ・アンケートの設問項目について検討
- ・配布時期、配布世帯について

6/17 第3回 まちづくりアンケート調査検討委員会

- ・アンケート配布～回収～集計作業 スケジュールについて

6/28～7/20

11会場17町内会の各役員にむけ、「地域まちづくり計画」および「まちづくりアンケート実施要項」の説明と配布

7/10～8/7

町内会別にアンケートを順次回収

8/22 まちづくりアンケート調査検討委員会 担当者会議

- ・回収状況について 回収世帯2,058世帯 回収率94.3%
- ・集計作業について

8/26～9/4

行政職員の会によるアンケート集計作業（延べ8日約180時間）

光学区まちづくり計画 組織表

光学区まちづくり推進委員会

(学区・教育部会)

- ・町内会連合会
 - ・光小学校
 - ・光小学校PTA
 - ・鷹取中学校
 - ・鷹取中学校PTA
 - ・女性会
-
- (志縁チーム)
- ・草戸の歴史を愛する会

(環境・福祉部会)

- ・町内会連合会
 - ・老人クラブ連合会
 - ・福祉を高める会
 - ・公衆衛生推進委員会
 - ・民生委員会
 - ・野上保育所
-
- (志縁チーム)

(安心・安全部会)

- ・町内会連合会
 - ・子ども会育成会
 - ・消防団
 - ・防火協会
 - ・民生委員会
 - ・地域安全推進委員会
 - ・交通安全自治会
-
- (志縁チーム)

(協働・人権部会)

- ・町内会連合会
 - ・体育会
 - ・青少年育成員協議会
 - ・行政職員の会
-
- (志縁チーム)

(事務局)

- ・公民館
-
- (志縁チーム)

明るいまちづくり委員会
自主防災協議会

まちづくり推進委員会全体で取り組む活動

分譲いす会・敬老会・文化祭・子ども祭り

血踊ヲハ云 - 歌七云 - 入ルホ - 七ノホ云

まちづくり計画策定委員 名簿

部会名	構成メンバー					
	町内会長		各種団体		地域安全推進員	
学区・教育 (8名)	山本 晴睦	西鷹取	高田 久	(光小PTA)		
	川崎 弘國	中ノ丁	島 富美男	(光小学校)		
	近藤 武司	半坂	飛田 洋悟	(鷹取中学校)		
			桑田 真弓	(女性会)		
			三谷 干城	(草戸の歴史を愛する会)		
環境・福祉 (10名)	有田 泰夫	双葉	柿原 弘幸	(前公民館長)		
	永井 孟	淀川	延谷 一善	(福祉を高める会)		
	花谷 功	芦田	高田 元継	(福祉を高める会)		
	占部 芳敏	沖野上親和	金尾 富子	(公衆衛生推進委員会)		
			濱田喜代恵	(民生委員会)		
			川上千恵美	(野上保育所)		
安心・安全 (25名)	田古部敏之	朝日	三宅 祐二	(育成会)	花谷 致和	太田 悦雄
	三谷 素久	下ノ丁	渡壁 賢治	(防火協会)	小林 嗣治	長谷川利道
	金高 芳郎	南鷹取	門田 剛正	(民生委員会)	岡野 範三	平岡 敏夫
	栗原 龍三	光			羽田 英子	池田 嘉明
					松岡 敏生	茶木 幸雄
					生田 徳男	廣川 良治
					占部 康正	香西 照子
					仁茂田豊生	島村 孝成
					戸原 健雄	羽原 幸造
協働・人権 (8名)	大橋 繁興	沖野上親栄	青山 勇一	(体育会)		
	志田原 隆	東鷹取	宮本 雅文	(行政職員会の会)		
	佐藤孝次郎	淀川親和 公民館長				
	竹城 浩一	上ノ丁				
	小林 清志	淀川睦				
	中西 泰三	栄				

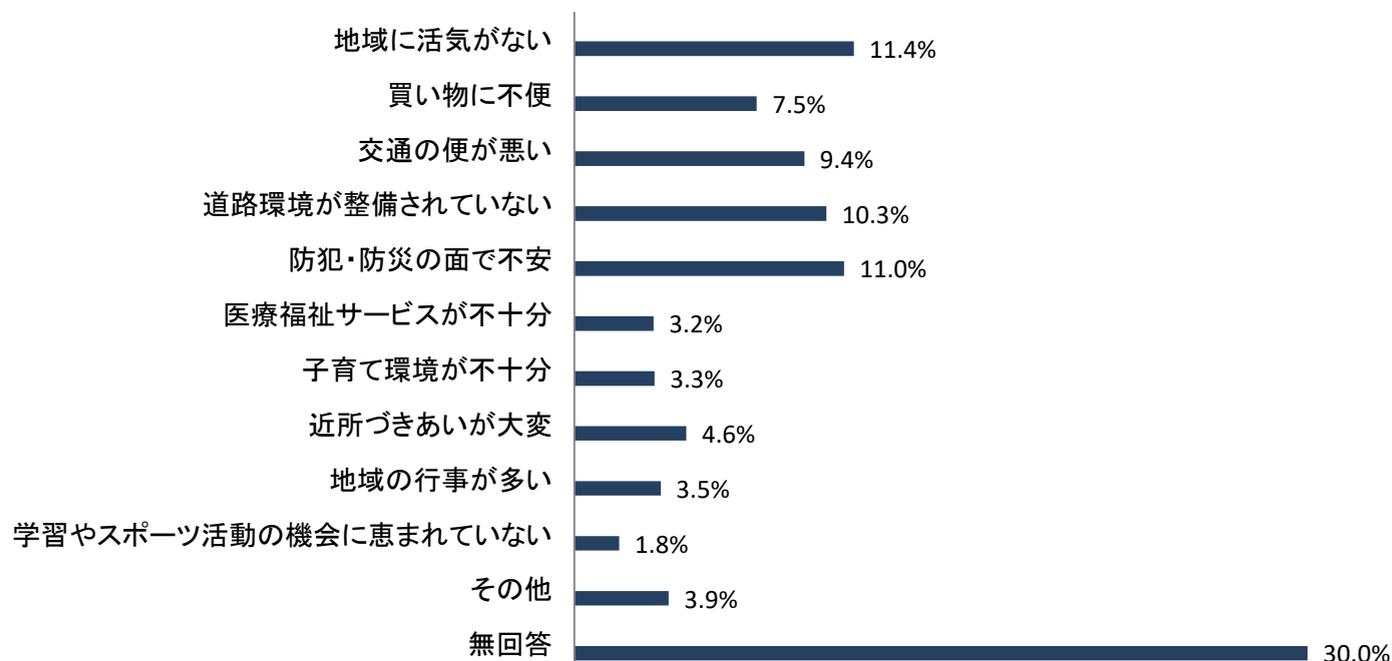
*太字はアンケート実行委員

支 援 : 小山 友康・河野 光世 (中部生涯学習センター)

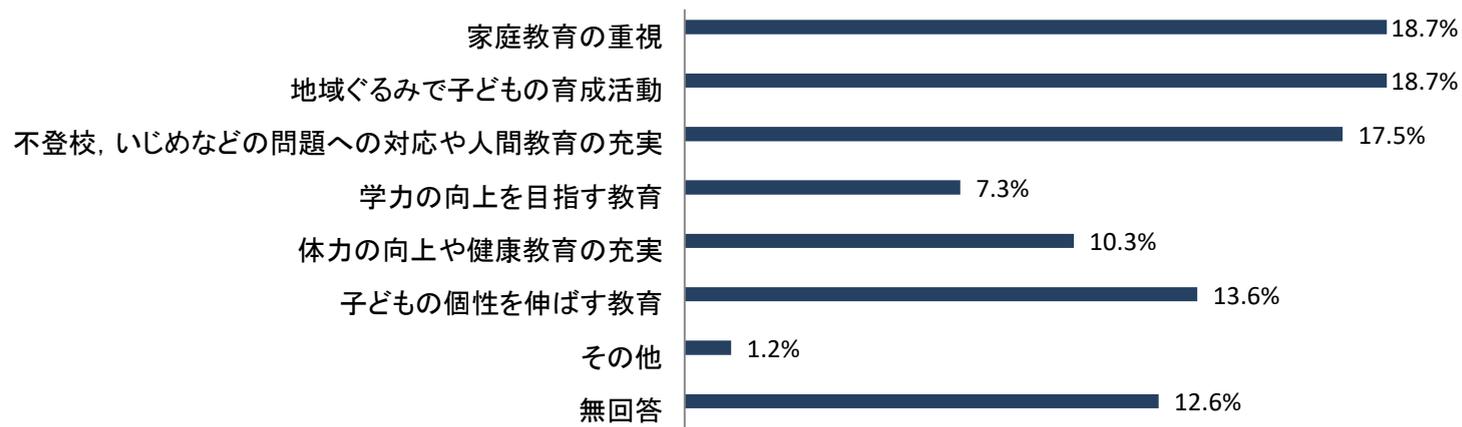
畑 信次・高橋 雅和 (行政職員会の会)

事務局 : 塩出 里子・石橋 京子 (光公民館)

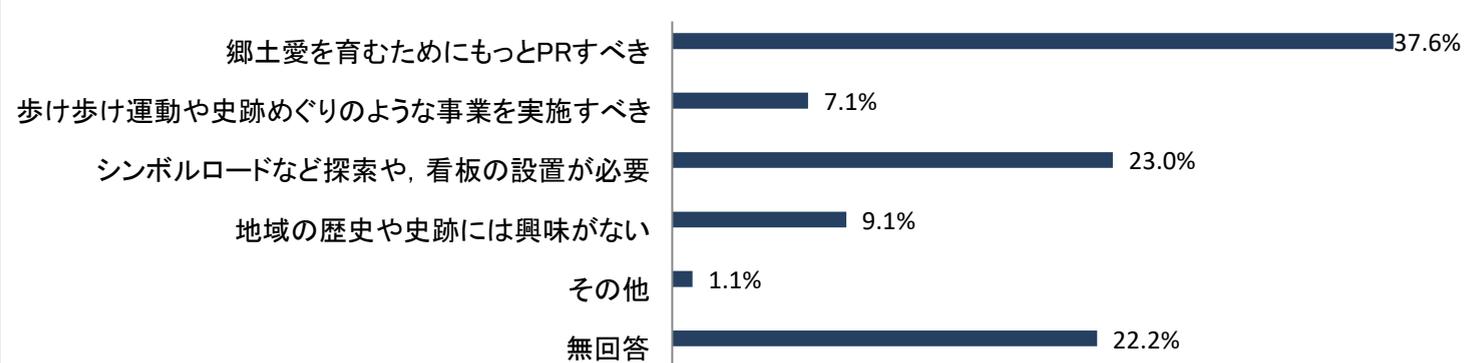
設問7 あなたの地域で住みにくいと思うところは



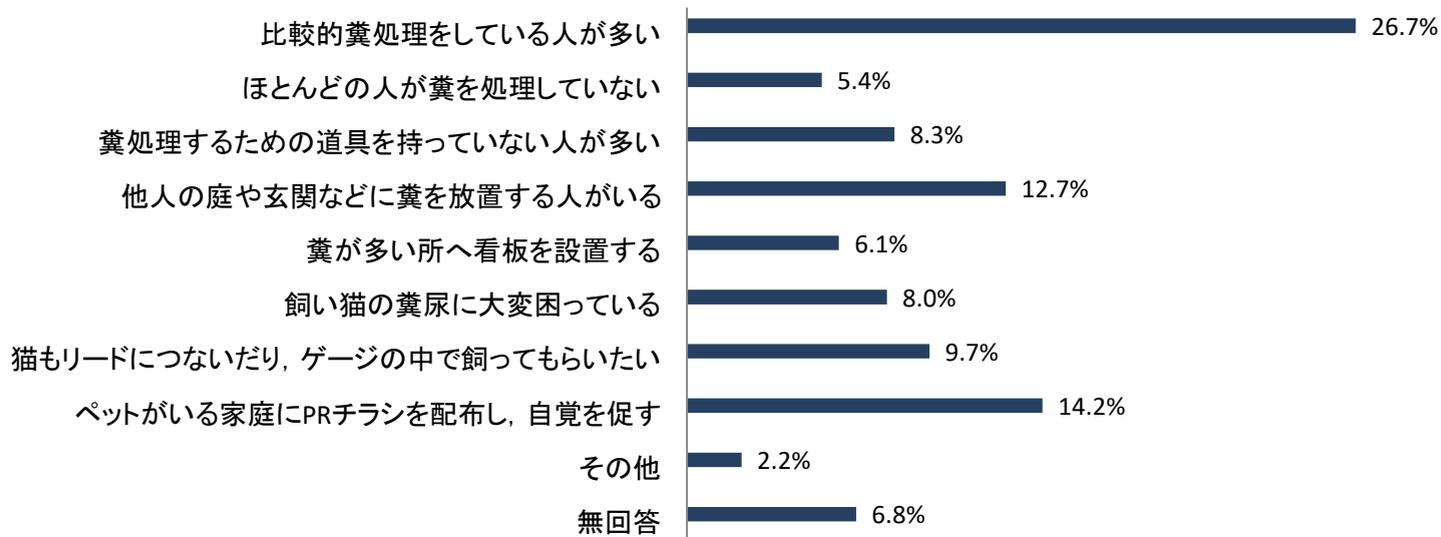
設問8 子どもに対して学校や地域が力をいれるべきことは



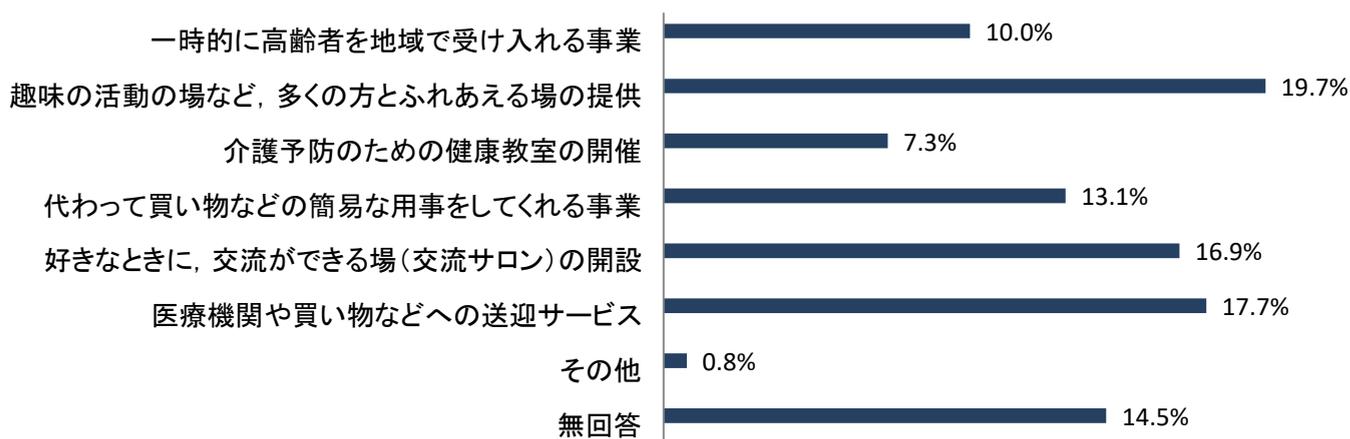
設問9 学区には史跡や旧跡が多く歴史が古いがどう思うか



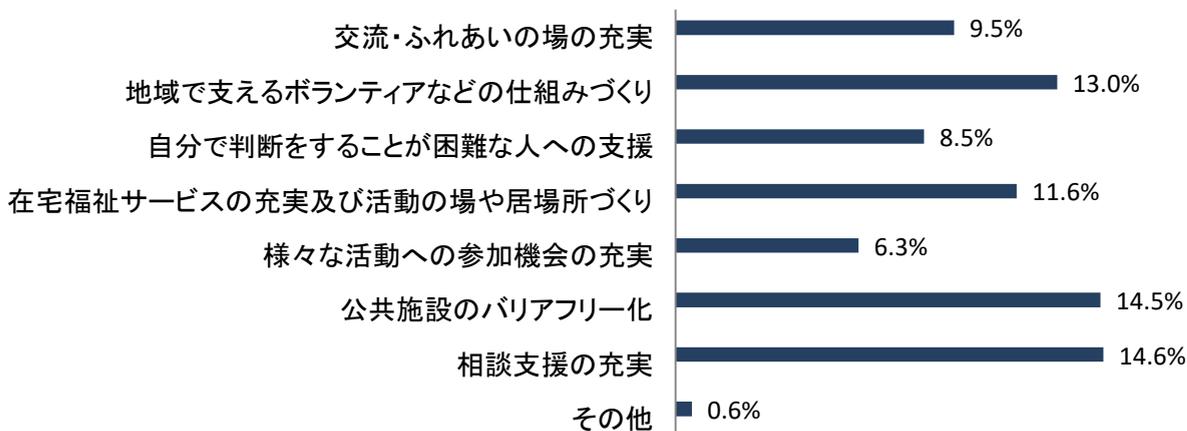
**設問13 最近、犬や猫などのペットを飼う家庭が多いが犬の散歩時の糞処理
や猫の糞尿についてどう思うか**



設問16 高齢者にとって地域にどんな事業があればよいか

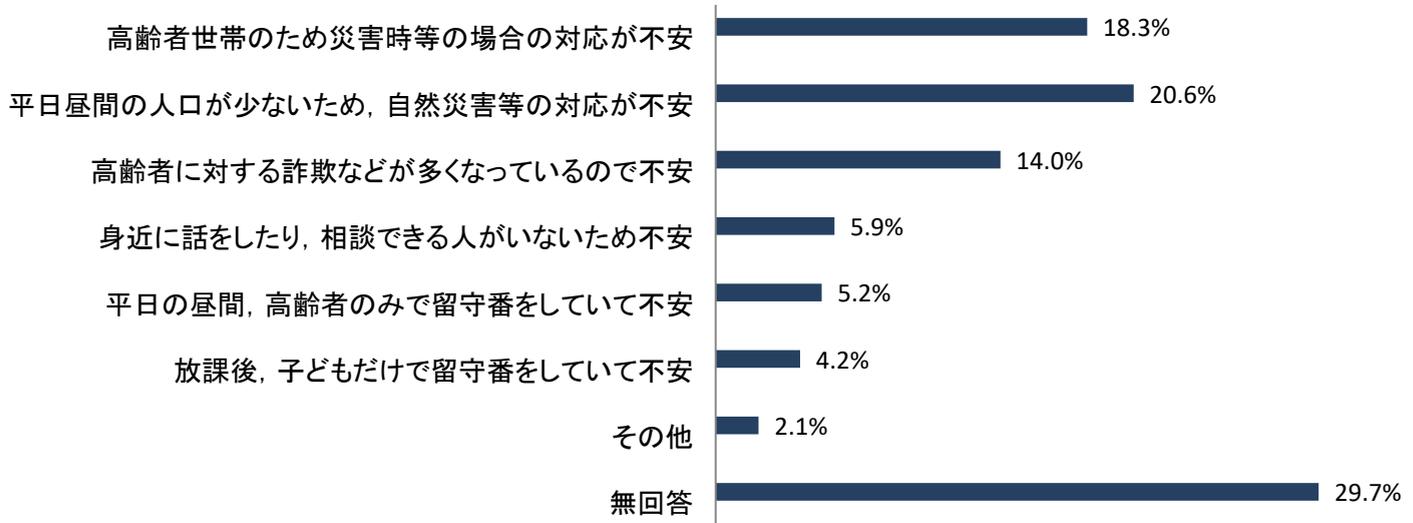


設問17 障がい者にとって、地域にどんな事業があればよいか

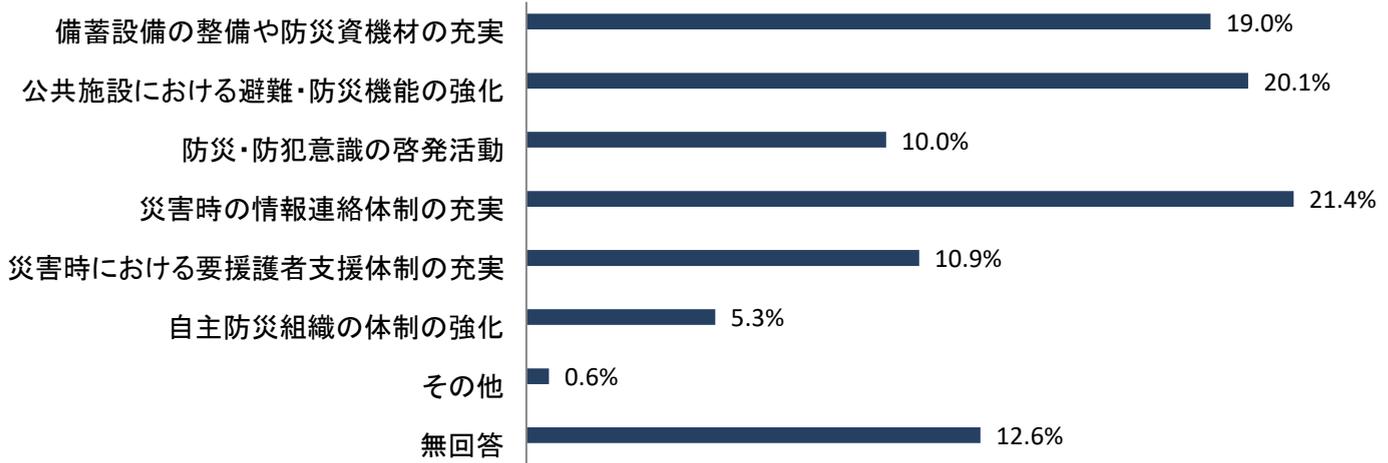


無回答 21.4%

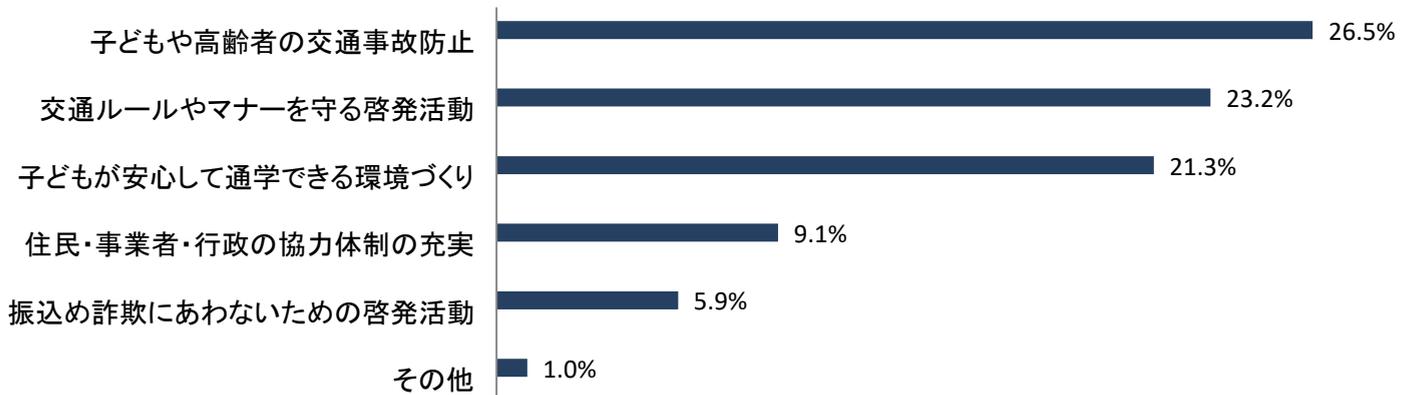
設問21 身近で不安を感じることもあるか



設問22-1 安心・安全なまちをつくっていくために重点的に取り組むべきものは (災害時)

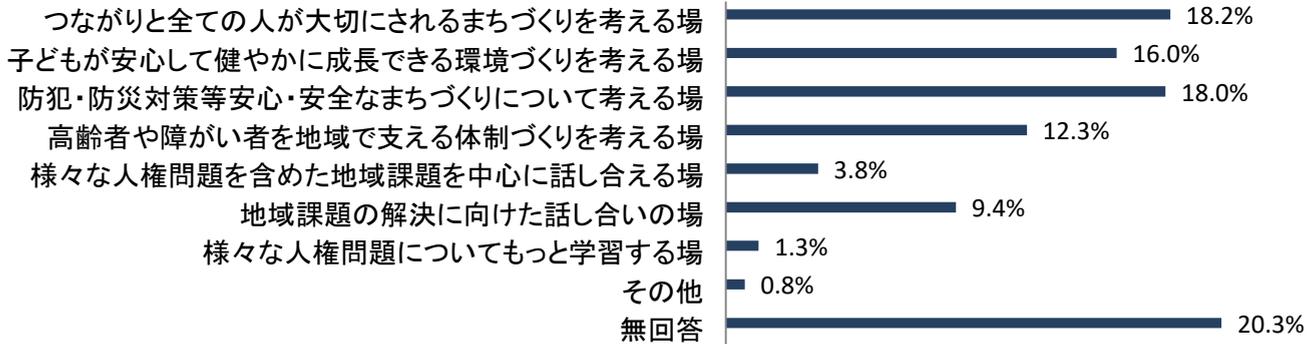


設問22-2 安心・安全なまちをつくっていくために重点的に取り組むべきものは (交通安全・防犯)

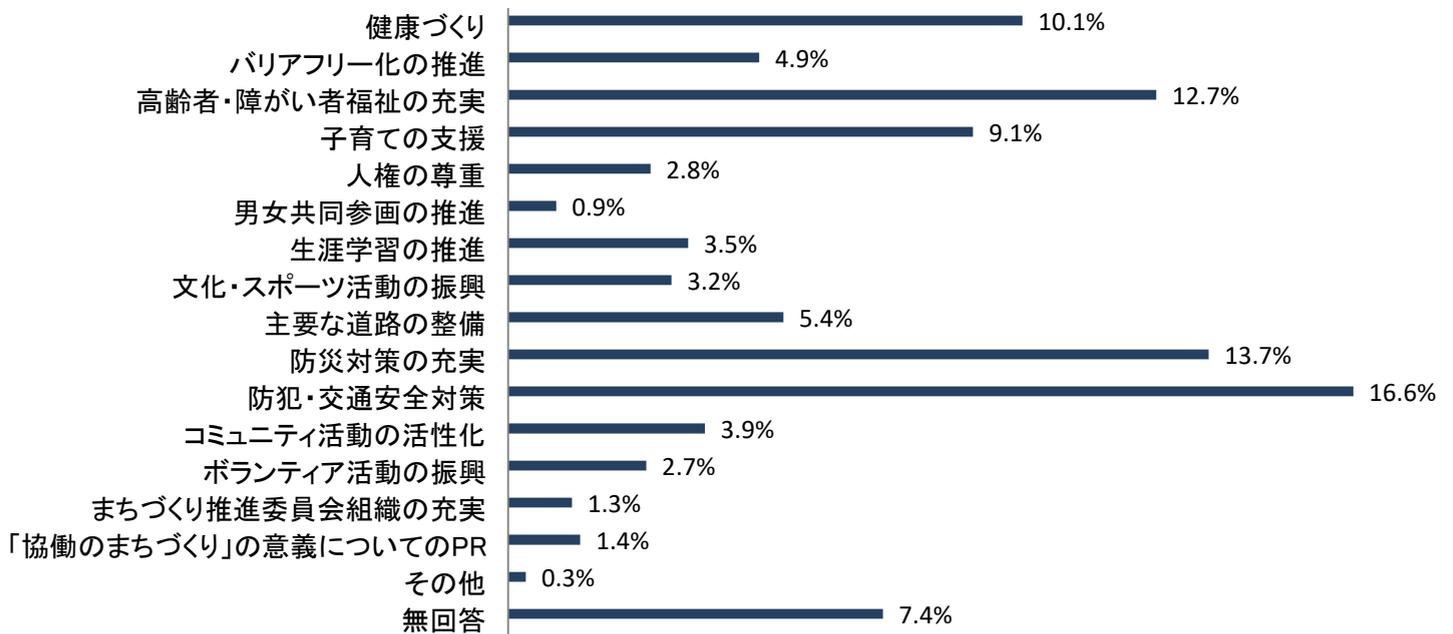


無回答 13.0%

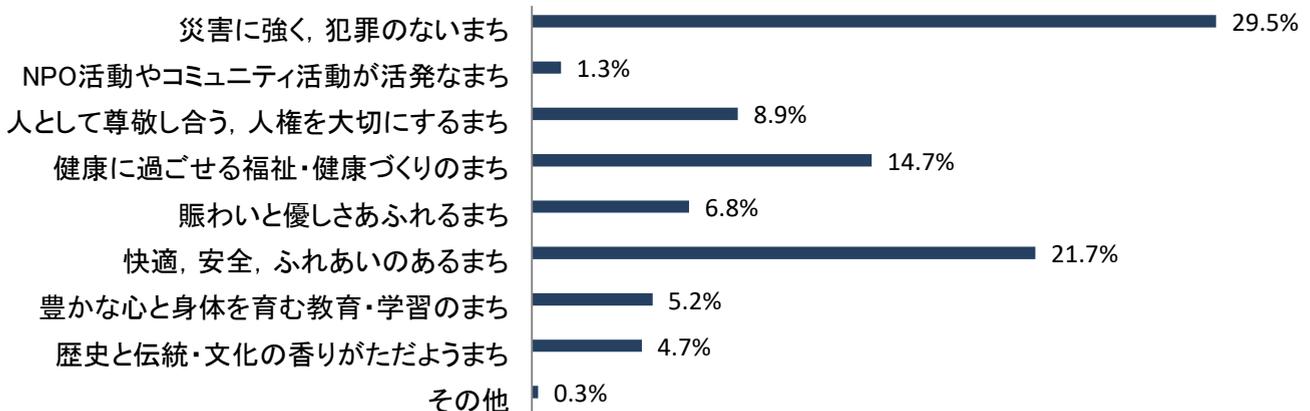
設問24 「住みよいまちづくり学習会」をどのような学習の場にしたらいいと思うか



設問28 今後、あなたの地域のまちづくりにおいて、特にどのような取組を優先的に進めていく必要があると思うか



設問32 あなたの地域が将来、どのようなまちであってほしいと考えるか



無回答 | 7.0%



老人クラブ連合会 一斉清掃



光おはなし文庫



盆踊り大会



環境出前講座



とんど祭り



防災のまちづくり 出前講座



グラウンドゴルフ大会



文化祭



光学区まちづくり計画

2014年（平成26年）6月 策定

光学区まちづくり推進委員会